

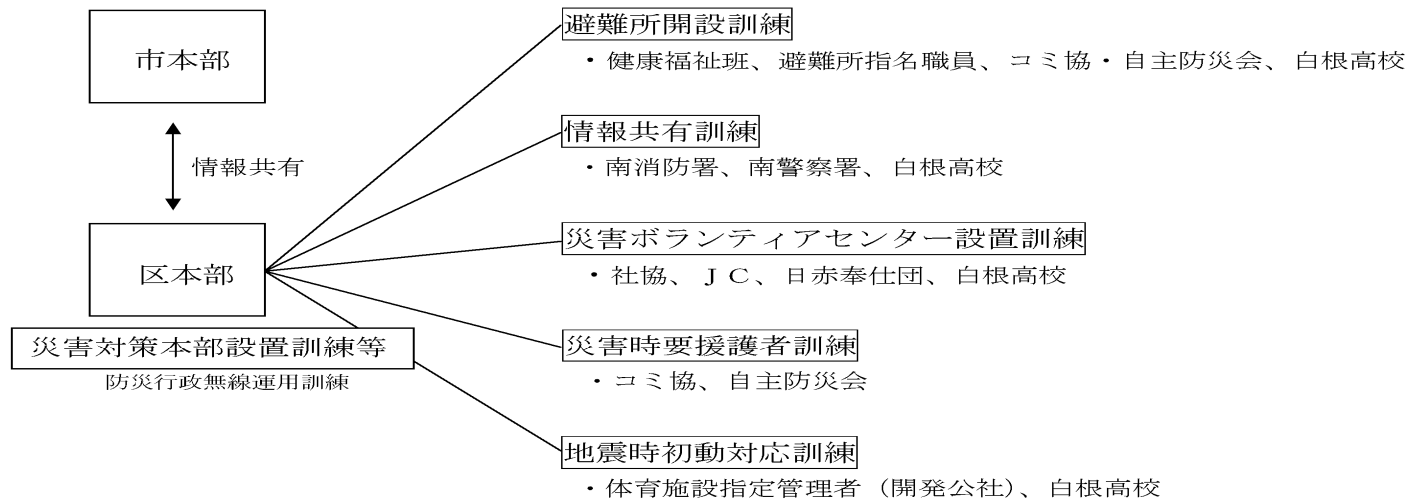
# 平成28年度 南区総合防災訓練 実施報告

資料6

■実施日:平成28年11月6日(日) 午前8時50分～正午

■想定:午前8時50分に長岡平野西縁断層帯が原因とみられるマグニチュード7.0の地震が発生、南区管内で震度6弱を観測したことを想定

## ■訓練内容



## 〈訓練実施施設:参加者数〉

区分	参加者数	参加者	備考
避難所 (白根高校除く11ヶ所+独自避難所)	652	避難所指名職員、コミ協、自主防災会、市民、指定管理者	避難所開設訓練 (自主防災訓練も実施:茨曾根・臼井・大郷・鷲巻・味方)
白根高校	286	白根高校生徒・教員・保護者、白根コミ協、自主防災会、社協、JC、日赤奉仕団、市民	地震時初動対応訓練、情報共有訓練、避難所開設訓練 災害ボランティアセンター設置訓練
体育施設	243	体育施設指定管理者職員、体育施設利用者	地震時初動対応訓練・避難誘導訓練(白根カルチャーセンター、味方体育館)
区役所	62	区役所職員、南消防署、南警察署	災害対策本部設置訓練、情報共有訓練
合計	1,243	前年比9%増(95人増)	

※白根高校にて、NPO法人コミ災害対策センターより災害時に必要な物品の展示紹介を実施

## ～アンケート結果(主な意見等)～

### 〈地震時初動対抗訓練・避難誘導訓練〉

- ・訓練当日、卓球大会があり200人という人数の中での避難・誘導は初めてであり、非常に意義のある訓練になったと思う。(白根カルチャーセンター)
- ・不特定多数での利用の場合には、避難誘導に時間がかかることを想定しておく必要がある。地域の防災訓練の集合場所と間違えて来館された方がいたので、正しい情報が地域住民に伝わることも重要と感じた。(味方体育館)

### 〈避難所開設訓練〉

#### ○防災行政無線の操作方法・流れ

- ・流れや無線機の操作方法を知ることは、大事(大切)。地域の防災役員との顔合わせに意義があった。(茨曾根、小林、大郷、庄瀬)
- ・MCA無線の取扱説明書と避難所(地域生活センター)のMCA無線の種類が違うため、操作方法が違い、地元自治会から教えてもらい、報告することができた。(臼井・鷲巻)

#### ○訓練内容

- ・拘束の時間の割にはやる事が少ないことから、何か仕掛けがあってもよいのではないか。参加していただいた方にも行う訓練があるとよいのではないか。(小林、月潟、茨曾根、庄瀬)
- ・味方地区の訓練と同時にやったことで、多くの市民の参加が得られよかった。AEDの使い方、段ボールベット、新聞紙のスリッパ作りなど、内容が濃く、とても勉強になった。(味方)
- ・避難所の開設から閉鎖までの流れを実際に体験できたのは良かった。(大通)
- ・臼井中学校の教頭と中学生6名の参加があり助かった。災害が起きた時は、中学生・高校生・大学生の学生に力が必要であると感じた。また、被災地支援に参加した方の体験談は、災害をより身近に感じた。(臼井)
- ・当日の避難所で防災物資による実演会・ビデオ上映会は、災害を知らない市民に防災訓練の必要性を知ってもらうのに効果的であった。(臼井)
- ・自主防災訓練には、避難所単位で事前打ち合わせも含めて指名職員も参加できれば、参加した方が良い。(鷲巻)
- ・物資が運搬された時、気付かないうちに玄関先に置かれていた。訓練とはいえ、待機している職員に声をかけて欲しかった。災害の時ほど情報の伝達が重要。(庄瀬)
- ・全体的な進行役を決めるべきであった。熊本地震の体験講話はわかりやすく、避難の状況、支援の必要性が理解できた。白根高校側と協議し、毎年訓練に参加してもらいたい。段ボールベットの作成訓練は連帯感が生まれ、よい訓練だと思う。(白根)

#### ○避難者カードの改善

- ・避難者カードへの記載は現行の様式は時間がかかり、記載・集計も大変。受付で一覧表のようなものに用意し、避難者カードは配布して後で出してもらおう方がよいのではないか。(小林、味方)
- ・避難者カードの入所時間・退所時間は書かせるべき。地区の方々の防災意識が高い。(根岸)

#### ○その他

- ・各自治会の回覧で訓練参加を呼び掛けても、役員以外の一般の人たちの参加が少ない。子供達や高齢者は特に少なく、防災に対する地域全体の意識が低い。(鷲巻)
- ・地域の方々が非常によく訓練されていたのですが、その分その方々が被災されて集まれない場合に訓練通り動けるか気になる。(大郷)
- ・保育所や地域生活センターなどの耐震補強を徹底してほしい(行われていないと言っていた)。(大郷) → 南区市立保育園及び地域生活センターは耐震化済
- ・コンロの都市ガスとプロパンへの切り替えが対応できるようにしてほしい。民間の発電機を有事に使用できるように市からも事前の連絡をしてほしい。(大郷)
- ・参加人数が少なく、残念な気持ちになった。トイレの洋式が設置されていないので、足の不自由な年配の方に難しい場所で不安を感じた。体育館は広く、冬に災害があると暖房が心配だ。(白根高校)
- ・防災物資ごとに色分けしたシールが貼ってあると災害の時に物資を見つけやすいのではないか。新潟市独自の食材を使用した缶詰や新潟米を使用した雑炊パック等の防災物資があるとよいのではないか。(臼井)
- ・避難所運営セットについての要望として、災害用ポータブルトイレ、紙おむつ、ミルク、手拭、アレルギー対策用食べ物や地域単位で最小限の運営セットが必要ではないか(避難所以外の集会場等)。(鷲巻)